

平成 26 年度第 2 回練馬区立美術館運営協議会次第

日時：平成 27 年 3 月 26 日（水）午後 2 時

場所：サンライフ練馬 3 階研修室

- 1 部長挨拶

- 2 美術館の指定管理者について

- 3 平成 27 年度事業計画
 - (1) 平成 27 年度予算（案）
 - (2) 展覧会事業
 - (3) 教育普及事業

- 4 平成 26 年度事業報告
 - (1) 展覧会事業
 - (2) 教育普及事業
 - (3) 美術作品の収集事業
 - (4) 施設利用状況
 - (5) 平成 26 年度ぐるっとパスの利用状況について

- 5 美術の森緑地について

- 6 その他

平成26年度 第2回 練馬区立美術館運営協議会 目次

1	練馬区立美術館運営協議会委員名簿	1
2	練馬区立美術館運営協議会条例	2
3	平成27年度 事業計画(案)	
(1)	平成27年度 予算(案)	4
(2)	展覧会事業	
	平成27年度 展覧会事業日程(案)	5
	小林清親展	6
	コレクション展	7
	N + N展 2015	8
	舟越保武展	9
	アルフレッド=シスレー展	10
	浜田浄展	11
	恵俊彦・浮世絵コレクション展	12
(3)	教育普及事業	
	平成27年度 教育普及事業計画(案)	13
4	平成26年度 事業報告	
(1)	展覧会事業	
	平成26年度 展覧会事業日程および観覧者数	16
	松林桂月展	18
	コレクション展	19
	N + N展 2014	20
	あしたのジョー展	21
	シェークスピア展	22
	俵有作展	23
	平成26年度 企画展・コレクション展関連事業	24
	平成26年度 広報活動と反響	25
(2)	教育普及事業	
	平成26年度 教育普及事業実績	30
	平成26年度 博物館実習受入実績	39
	平成26年度 美術館サポーター活動実績	40
(3)	美術作品の収集事業	
	平成26年度 美術作品の収蔵状況	41
	平成26年度 収蔵品貸出一覧	42
	平成26年度 美術館収蔵品データベースに対する反響	43
(4)	施設利用状況	
	平成26年度 施設利用状況	44
(5)	平成26年度ぐるっとパスの利用状況	45
5	美術の森緑地について	

第 15 期 練馬区立美術館運営協議会委員名簿

平成 26 年 7 月 10 日現在

		氏 名	役 職	
学識経験者	委員	あわづ のりお 粟津 則雄	文芸評論家	
	委員	たかはし こうじ 高橋 幸次	日大芸術学部美術学科教授	
	委員	あおき しげる 青木 茂	明治美術学会会長	
	委員	いずい ひでかず 伊豆井 秀一	埼玉県立近代美術館 専門員兼学芸員	
	委員	おおはし こうや 大橋 皓也	洋画家	
	委員	さとう やすひろ 佐藤 康宏	東京大学教授	
	委員	しまだ のりお 島田 紀夫	実践女子大学名誉教授	
	委員	いゝ しょういちろう 井出 洋一郎	府中市美術館長	
練馬区議会議員	委員	あがわ けいこ 小川 けいこ	区議会議員	
	委員	まつむら りょういち 松村 良一	区議会議員	
	委員	つちや としひろ 土屋としひろ	区議会議員	
	委員	さわむら しんたろう さわむら信太郎	区議会議員	
公募区民	委員	なかざわ ひろむ 中澤 弘生	公募区民	
	委員	くねた まりこ 暮田 麻里子	公募区民	
	委員	ひらやなぎ けいこ 平柳 慶子	公募区民	
美術関係者	委員	いとう ただお 伊藤 定夫	練馬・文化の会代表	
	委員	みやざわ としお 宮澤 歳男	練馬区美術家協会	
学校教育関係者	委員	ほりい やすのぶ 堀井 安伸	石神井東中学校	
	委員	もりた としひろ 森田 敏裕	大泉第一小学校	

練馬区立美術館運営協議会条例

昭和 60 年 10 月 8 日

条例第 45 号

(設置)

第 1 条 練馬区立美術館(以下「美術館」という。)の運営方針および事業計画を協議するため、練馬区立美術館運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(所掌事項)

第 2 条 協議会は、区長の諮問に応じてつぎに掲げる事項について審議し、答申する。

- (1) 美術館の運営方針に関すること。
- (2) 美術館の事業計画に関すること。
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事項

2 協議会は、前項各号に掲げる事項について、区長に意見を述べることができる。

(定数)

第 3 条 協議会は、委員 19 人以内をもって組織する。

(委員)

第 4 条 委員は、つぎの各号に定めるところにより、区長が委嘱する。

- (1) 学識経験者 8 人以内
- (2) 練馬区議会議員 4 人以内
- (3) 区民 3 人以内
- (4) 美術団体関係者 2 人以内
- (5) 学校教育関係者 2 人以内

2 前項第 3 号に規定する区民は、公募により選任するものとする。

(任期)

第 5 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合における補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長および副会長)

第 6 条 協議会に会長および副会長を各 1 人置く。

2 会長および副会長は、委員が互選する。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第 7 条 協議会は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 会議の議長は、会長が務める。

4 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決する

ところによる。

- 5 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くことができる。

(部会)

第8条 協議会は、第2条第1項に規定する事項について調査検討を行うため、部会を置くことができる。

2 部会は、会長の指名する委員をもって組織する。

3 部会は、協議会の求めがあったときは、必要な事項を報告しなければならない。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、地域文化部において処理する。

(委任)

第10条 この条例の施行について必要な事項は、練馬区規則で定める。

付 則 この条例は、公布の日から施行する。

付 則 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

付 則 この条例は、平成27年4月1日から施行する。

3 平成27年度 事業計画（案）

(1) 平成27年度 練馬区立美術館予算（案）

（単位：千円）

経費種別	支出	収入					
		施設 管理費	事業費	人件費	区事業 受託収入	観覧料	その他
人件費	48,869	0	0	48,869	48,869	0	0
初度調弁費 事務消耗品、什器備品購入 費	754	754	0	0	754	0	0
美術館維持経費	76,195	76,195	0	0	74,895	0	1,300
展覧会事業費	73,039	0	73,039	0	37,152	24,674	11,213
教育普及事業費	3,017	0	3,017	0	3,017	0	0
地域活動事業費	443	0	443	0	443	0	0
美術館に係る事業本部経費	5,697	0	5,697	0	5,697		
練馬区立美術館 管理運営事業費計	208,014	76,949	82,196	48,869	170,827	24,674	12,513

(2) 展覧会事業(案)

平成27年度 展覧会事業日程(案)

3階展示室			2階展示室		
会期	展覧会名	担当	会期	展覧会名	担当
4月5日 5月17日 <37日間>	【有料】 開館30周年記念 『没後100年 小林清親展 文明開化の光と影をみつめて』				加藤
5月22日 5月31日 <9日間>	【無料】 第61回練馬区美術家協会展		5月22日	【無料】 『練馬区立美術館コレクション展 シリーズ時代と美術3 1970～80年代 牧野邦夫(インパール)を中心に』	真子
6月2日 6月7日 <6日間>	(一般貸出)		6月30日		
6月11日 6月30日 <17日間>	【無料】 「N+N展2015 The彫刻 Nichigei彫刻の現在」	真子	<34日間>		
7月12日 9月6日 <49日間>	【有料】 開館30周年記念 『舟越保武彫刻展-まなざしの向こうに-』				喜多
9月20日 11月15日 <49日間>	【有料】 開館30周年記念 『アルフレッド・シスレー:イル＝ド＝フランス、川のある情景』展				小野
11月21日 12月27日 <32日間>	(一般貸出)		11月21日	【有料】 『浜田 浄』展	真子
1月9日 1月13日 <4日間>	中学校生徒作品展				
1月16日 1月21日 <5日間>	小学校連合同工展		2月7日		
1月23日 1月24日 <2日間>	小中学校連合書きぞめ展		<62日間>		
1月30日 2月7日 <8日間>	【無料】 第47回練馬区民美術展				
2月19日 4月10日 <45日間>	【有料】 「憲俊彦浮世絵コレクション」展				加藤

「没後 100 年 小林清親」展 文明開化の光と影を見つめて 開催要項

1 開催趣旨

江戸、本所に生まれた小林清親（弘化 4～大正 4・1847～1915）は幕臣として伏見の戦いにも参戦、江戸城開城を目の当たりにするなど、まさに、江戸の終焉を肌身に感じる青年時代を送っています。

明治 9 年（1876）清親は江戸からの変貌を遂げた東京の風景を、銅版画や水彩画を意識し、光と影の表現を駆使した新しい感覚の木版画として世に送り出しました。「光線画」の誕生です。清親はこの新東京風景を次々と発表しセンセーショナルなデビューを果たします。こうした風景画に加えて花鳥画や静物画などを発表。その表現、技術共に頂点に達しますが、明治 14 年を最後に、好評だった東京風景画をやめ、戯画、社会風刺画を描きジャーナリズムとの関係も深めていきます。明治 27 年、日清戦争が始まると戦争画を手がけるなど、社会、風俗に応じた、浮世絵師としての仕事を全うしてきましたが、木版画の斜陽には^{あらが}抗えず、出版からは離れ、50 歳を過ぎた頃から肉筆画にその活動の場を求めていくこととなります。

明治後期からは一線を退き、時代に取り残された浮世絵師の残像と見なされがちな清親でしたが、近年、肉筆画の大作が発見されるなど評価も変わりつつあります。

没後 100 年の記念展となる本展では、当館寄託作品 33 点を含む版画・肉筆画・スケッチなど約 280 点により「最後の浮世絵師」清親を総合的に回顧します。

- 2 会期 平成 27 年（2015）4 月 5 日（日）～5 月 17 日（日） 37 日間
- 3 主催 練馬区立美術館 日本経済新聞社
- 4 内容 版画、スケッチ、肉筆画ほか約 280 点
- 5 観覧料 有料
- 6 図録 「小林清親 文明開化の光と影を見つめて」を図録兼書籍として出版（青幻舎 2400 円）
- 7 イベント 記念講演会（北海道教育大学教授：岡本祐美氏、当館学芸員）、
浮世絵版画の摺りの実演（渡邊木版美術画舗）
学芸員によるギャラリートーク（2 回）
銀河万丈氏による読み語り（藤沢周平「旅の誘い」他）
記念コンサート（ピアノ：小池ちとせ、チェロ：三宅進）
- 8 観覧者数見込 8,000 人（216 人／日）
- 9 担当 学芸員 加藤陽介

練馬区立美術館コレクション展 シリーズ時代と美術 3

「1970～80年代 牧野邦夫《インパール》を中心に」

開催要項

- 1 開催趣旨 練馬区立美術館の開館 30 周年に向けたコレクション展の、第 3 回目を開催する。
当館の所蔵品約 4,000 点(寄託作品含む)は、近現代の日本の作家を中心に収集されてきた。「時代と美術」と名付けたこのシリーズは、作品や作家を単体で眺めるのではなく、それぞれがどのような時代背景の中で生まれ、どのような役割を担ってきたのかという視点を持ち展開していく。今回は 1970～80 年代に焦点を当て、牧野邦夫を中心に、荒川修作、石原友明、小作青史、川俣正、近藤竜男、高松次郎、寺田真由美、中西夏之、山内秀臣らの作品を展示する。
- 2 会期 平成 27 年 5 月 22 日(金)～6 月 30 日(火)
- 3 主催 練馬区立美術館
- 4 内容 絵画、版画、立体作品等 約 50 点
- 5 図録 リーフレット(A3ニツ折)を作成・無料配布
- 6 観覧料 無料
- 7 イベント ギャラリートーク
鑑賞プログラム「トコトコ美術館」
ワークショップ 等を予定
- 8 観覧者見込 8,160 人 (240 人/日)
- 9 担当 学芸員 真子みほ

N+N 展 2015

「N+N 展 2015 The 彫刻 Nichigei 彫刻の現在」

開催要項

- 1 開催趣旨 7 回目を迎える、日本大学芸術学部（日藝）美術学科と練馬区立美術館との共同企画展。今回は彫刻コースの教職員、院生、卒業生の作品を中心に展示する。日藝彫刻コースは、柳原義達や土谷武ら歴代の教授陣による薫陶のもと、プロンズの具象彫刻と鉄の抽象彫刻で知られてきた。現在、教職員や卒業生の個性的な作家たちが、さまざまなテーマと素材で、創作を展開している。本展は作品の様態や発表方法などが多様化する今日において、日藝の彫刻の現在を提示しながら、改めて彫刻とは何か、彫刻に何が可能かを問うものである。なお、この展覧会は平成 27 年度日本大学芸術学部長指定研究の一環として開催される。 美術の森緑地の設置彫刻の原型、スケッチも展示

参加予定作家：大槻孝之、鞍掛純一、飯田竜太、内山翔二郎、平林洋、松本隆、長谷川佐知子、和田政幸、桐生ミナミ、今村克、豊島鉄也 他
- 2 会期 平成 27 年 6 月 11 日（木）～6 月 30 日（火）
- 3 主催 練馬区立美術館 / 日本大学芸術学部美術学科
- 4 内容 彫刻作品約 40 点を展示
- 5 図録 展覧会終了後、日本大学芸術学部美術学科が記録集を制作予定
- 6 観覧料 無料
- 7 イベント ギャラリートーク、講演会、ワークショップなど予定
- 8 鑑賞者見込 3,740 人（220人/日）
- 9 担当 学芸員 真子みほ

**練馬区立美術館開館 30 周年記念
舟越保武彫刻展 まなざしの向こうに
開催要項**

1 開催趣旨

戦後の日本具象彫刻界を代表する作家のひとり、舟越保武(1912～1987)の回顧展を開催いたします。

舟越は、1912(大正元)年に岩手県に生まれ、盛岡中学時代にロダンに憧れて彫刻家を志しました。石彫による清楚な女性像で知られる舟越がはじめて大理石彫刻に取り組んだのは練馬に在住していた1940年(昭和15)のことであり、舟越は練馬ゆかりの作家でもあります。

本展は、練馬で制作された初期の石彫など国内の代表的な作品のほか、初公開を含むドローイング作品をあわせて展示し、宗教的テーマの作品で独自のスタイルを確立した舟越の、生涯にわたる仕事を振り返ります。

また、舟越が東京美術学校在学時から郷里の盛岡に疎開するまで居住した練馬のアトリエ長屋、現在は、練馬アトリエ村などともいわれる一画で制作の場を構えた画家たちの姿を紹介します。

2 会期 平成 27 年 7 月 12 日(日) 9 月 6 日(日)

3 主催 練馬区立美術館 / 読売新聞社、美術館連絡協議会

**4 協賛
協力** ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網
ギャラリーせいほう

5 内容 彫刻作品約 60 点、素描作品約 60 点。

6 図録 『舟越保武 まなざしの向こうに』を図録兼書籍として出版。
(求龍堂 2500 円)

7 観覧料 有料

8 イベント ギャラリートーク、講演会、コンサート、読み語り(銀河万丈) ワークショップを予定。

9 鑑賞者数 10,800 人(220 人/日)

10 担当 学芸員 喜多孝臣

練馬区立美術館開館 30 周年記念

「アルフレッド・シスレー イル＝ド＝フランス 川のある情景」展

開催要項

1 開催趣旨

日本の美術館やコレクターが、世界でも選りすぐりの印象派の絵画を所有していることは、広く知られている。その質、量ともに大変な充実ぶりで、我が国における膨大な印象派コレクションの全体像の周知は、世界中から望まれていることでもある。そのような背景を踏まえ、国内に所蔵されている貴重なコレクションから、印象派を代表する風景画家アルフレッド・シスレーの展覧会を開催する。

アルフレッド・シスレー（Alfred Sisley / 1839 - 1899 年）は、フランス、パリのイギリス人実業家の裕福な家庭に生まれた。4 年間のイギリス滞在後、画家となる決意をしたシスレーは、モネやルノワールらがいたシャルル・グレルの画塾へと入り、1863 年まで学ぶ。その後は、フェオンテーヌブローの森の外れなどに出向き、風景画家としての本格的な制作活動がはじまる。1875 年 3 月、シスレーはパリを離れ、ルーヴシエンヌやマルリ＝ル＝ロワやセーヴル、モレ、サン＝マメスなど、パリ郊外を転々としながら各地の風景を描き続けた。1889 年よりモレ＝シュル＝ロワンに滞在し、1899 年に没するまでこの地に留まっている。

本展では、シスレーが生涯を通して描き続けたセーヌ川とその支流を巡る情景を中心に辿る。美しいパリ郊外の風景画として捉えるだけでなく、シスレーが多く描いた「洪水」「増水」などの川の異変に着目することから、テクノロジーが支えた川の情景という近代化の視点を交え、多角的にシスレーの作品世界を検証したい。

- | | |
|--------|--|
| 2 会期 | 平成 27 年年 9 月 20 日（日）～11 月 15 日（日） |
| 3 主催 | 練馬区立美術館 / 毎日新聞社 |
| 4 後援 | フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ（予定） |
| 5 展示内容 | 油彩画 20 点と版画 10 点、資料・地図・写真・ポストカード等 30 点 計約 60 点 |
| 6 図録 | 制作する |
| 7 観覧料 | 有料 |
| 8 イベント | ギャラリートーク、講演会、コンサート、読み語り、ワークショップなど予定。 |
| 9 観覧者 | 22,050 人（450 人 / 日） |
| 10 担当 | 学芸員 小野寛子 |

「浜田浄」展

開催要項

- 1 開催趣旨

浜田浄はアクリル絵の具、鉛筆などを用い、抽象的な絵画を発表し続ける作家である。1937年高知県生まれ。1956年上京し翌年多摩美術大学油科に入学。1959年には第9回モダンアート協会展に初入選。以後様々な公募展や画廊での個展などで発表を続けている。また浜田は1965年から96年まで、練馬区(光が丘第七小学校 現 光が丘秋の陽小学校)や豊島区の小学校専科教員を務めた、地域ゆかりの作家でもある。

油彩画から始まった浜田の活動は、72年にアクリル絵の具、75年初めて支持体に合板を用いる試みを経て、1977年の現代版画コンクール佳作賞受賞により一躍版画家として注目を集めた。しかし80年には版画制作を中止。その後、紙を一寸の隙なく鉛筆で塗り込める漆黒の作品を発表。さらに80年代後半からは、カッターナイフ、ヘラ、ペインティングナイフなど様々な道具を駆使し、絵具をのせた合板やカンヴァスヘドロローイングを施す仕事へ移行。絵画表現を追求するその姿勢は、現在もなお途切れることなく続いている。本展では初期から最新の仕事までを展示し、浜田の作品世界を紹介する。
- 2 会期 平成27年11月21日(土)～平成28年2月7日(日)
- 3 主催 練馬区立美術館
- 4 内容 絵画、版画 約40点
- 5 図録 冊子を作成・販売
- 6 観覧料 有料
- 7 イベント ギャラリートーク (作家とゲストの対談形式)
鑑賞プログラム「トコトコ美術館」
ワークショップ等を予定
- 8 観覧者見込 15,000人(238人/日)
- 9 担当 学芸員 真子みほ

「惠俊彦浮世絵コレクション」展 開催要項

1 開催趣旨

惠俊彦氏（1935 生）は風土会に所属し、一貫して武蔵野の自然を描く、洋画家です。そうした一面と共に、歌川国芳、月岡芳年など幕末・明治期の浮世絵の革新性、奇抜さに早くから着目し、長年に亘りコレクションしてきた蒐集家・研究者として、国内はもちろん、海外でも高い評価を受けています。

氏のコレクションからは国芳などの個々の絵師の展覧会には出品されているものの、その全貌は今まで明らかとされていません。

本展では、初公開の作品を数多く含む、幕末・明治期の浮世絵の粋を紹介するものです。また、武蔵野の面影を残す練馬ともなじみが深い惠氏の作品も併せて展示します。

- 2 会期 平成 28 年 2 月 19 日（金）～4 月 10 日（日） 45 日間
- 3 主催 練馬区立美術館、東京新聞（予定）
- 4 内容 浮世絵版画、肉筆画、油絵等、約 180 点
- 5 観覧料 有料
- 6 図録 制作する
- 7 イベント ギャラリートーク、講演会、コンサート、読み語り、ワークショップなどを予定
- 8 観覧者数見込 11,250 人（250 人 / 日）
- 9 担当 学芸員 加藤陽介

(3) 教育普及事業

平成27年度 教育普及事業計画(案)

館内事業

) 展覧会関連 (各展覧会を楽しむ)

関連ワークショップ・講座

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	コレクション展関連ワークショップ 講師:真子 みほ (当館学芸員)	6月29日(日) 13:30 ~ 17:00	1	小学生 ~大人	20名
2	N+N展関連ワークショップ 講師:真子 みほ (当館学芸員)	6月	1	小学生 ~大人	20名
3	舟越保武展関連ワークショップ	8月	8	小学生	各10~ 20名
4	シスレー展関連ワークショップ	未定	1	未定	未定
5	浜田浄展関連ワークショップ	未定	1	未定	未定
6	恵コレクション展関連ワークショップ	未定	2	未定	未定

ギャラリートーク

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	小林清親展	4月18日(土)、5月9日(土)	2	自由参加	
2	コレクション展	未定	2	自由参加	
3	N+N展	未定	1	自由参加	
4	舟越保武展	未定	2	自由参加	
5	シスレー展	未定	2	自由参加	
6	浜田浄展	未定	2	自由参加	
7	恵コレクション展	未定	2	自由参加	

コンサート・ライブパフォーマンス

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	小林清親展関連 コンサート 演奏者:小池 ちとせ(ピアノ)、三宅 進(チェロ)	4月19日(日) 15:00 ~	1	自由参加	
2	小林清親展関連 浮世絵の刷り実演 演奏者:渡邊章一郎(渡邊木版美術画舗)	4月25日(日) 11:00 ~、14:00 ~	2	自由参加	
3	舟越展関連 コンサート	未定	1	自由参加	
4	シスレー展関連 コンサート	未定	1	自由参加	
5	恵コレクション展関連 コンサート	未定	1	自由参加	
6	銀河万丈読み語り	小林展、舟越展、 シスレー展、恵展	4	中学生 以上	各70名

鑑賞プログラム

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	コレクション展関連 トコトコ美術館 テーマ:影	5月30日(土)・31日(日) 10:30～11:30、14:00～15:00	4	3歳～6歳 +保護者	各回 5組
2	浜田浄展関連 トコトコ美術館 テーマ:鉛筆	1月	4	3歳～6歳 +保護者	各回 5組

講演会など

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	小林清親展記念講演会「清親の生涯」 講師:岡本 祐美(北海道教育大学教授)	4月12日(日) 15:00～	1	中学生 以上	70名
2	小林清親展記念講演会「小林清親の学んだもの」 講師:加藤 陽介(当館学芸員)	5月2日(土) 15:00～	1	中学生 以上	70名
3	舟越展関連講演会 講師:高橋幸次(日大芸術学部教授)他	未定	2	中学生 以上	70名
4	シスレー展関連講演会 講師:	未定	2	中学生 以上	70名
5	恵コレクション展関連講演会 講師	未定	2	中学生 以上	70名

) 美術講座 (美術に関する知識を学ぶ)

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	美術講座 作って学ぶ美術のれきし:絵画篇 講師:真子 みほ(当館学芸員)	5月24日(日)、6月21日(日)、 7月19日(日)10:30～17:00	1 (3日間)	小学5年 ～中学生	15名
2	美術講座 日本美術史「近代」 講師:喜多 孝臣(当館学芸員)	未定	1	中学生 以上	70名
3	美術講座 西洋美術史 講師:未定	未定	1	中学生 以上	70名
4	美術講座 装丁 講師:未定	未定	1 (3日間)	中学生 以上	20名
5	美術講座 日本画 講師:未定	未定	1 (2日間)	中学生 以上	20名
5	美術講座 版画 講師:山口 茉莉(版画家)	未定	1 (2日間)	中学生 以上	20名

) 美術館を楽しむワークショップ(人が集う「場」作り)

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	四季のみじたく シリーズ⑤夏のみじたく 革の巾着 講師:神田 沙耶香(革小物デザイナー)	6月28日(日) 10:30～12:30、14:00～16:00	2	小学4年生 以上	各回 10名
2	美術館をつかまえる!?館内探検とフロッターージュ遊び	8月	4	5歳～ 小学3年生	各回 10名
3	四季のみじたく シリーズ⑥秋のみじたく 講師:未定	未定	1	小学4年生 以上	20名
4	四季のみじたく シリーズ⑦冬のみじたく 包装紙の 模様 講師:青山 佳世(テキスタイルデザイナー)	11月29日(日) 10:30～17:00	1		20名
5	四季のみじたく シリーズ⑧春のみじたく 講師:未定	未定	1		20名

） その他

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	軽井沢お泊りワークショップ 講師：未定 ベルデ軽井沢で行う1泊2日のワークショップ2回目。	10月24日(土) ～25日(日)	1 (2日間)	小学生以上	20名
2	商店街を楽しむワークショップ(予定)	未定	2	小学生	各回 20名
3	美術の森緑地でのガイドツアー(予定)	未定	未定	未定	未定
4	美術の森緑地でのワークショップ(予定)	未定	未定	未定	未定

学校関連事業

） スクールプログラム パンフレットを作成し各学校に配布。

団体鑑賞 美術館担当者がマナーの説明や展示解説を行い鑑賞のお手伝いをする

施設見学 各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設を紹介する

職場体験・訪問 受付や事務、監視、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝える

出張プログラム 担当者が学校へ赴きコレクションや開催中の展覧会に関連した授業のお手伝いをする

） ティーチャーズデイ

当館及び当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中高等学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設ける。各日ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とする。

平成26年度は5回開催する。

	展覧会名	開催予定日
1	小林清親展	4月14日(火)
2	コレクション展	5月26日(火)
3	舟越保武展	7月28日(火)
4	シスレー展	9月29日(火)
4	浜田浄展	12月1日(火)
5	恵コレクション展	2月23日(火)

） スクールミュージアム

美術館の所蔵作品を学校の授業に役立ててもらうため、紙製の図版カード(トランプ大)、マグネットシート(A4版/A3版)、専用パネルの貸し出しを行う。これらのツールは、平成18年文化庁芸術拠点形成事業助成を受け、当館の所蔵作品から104点を選出し、作成された。

4 平成26年度 事業報告

(1) 展覧会事業

平成26年度 展覧会事業日程および観覧者数

(ア) 企画展等

開催期間	展覧会	開催 日数	観覧者目標 (1日当り)	観覧者実数 (1日当り)	目標比 (%)
4月13日(日) ～6月3日(日)	没後五〇年 松林桂月展	49	12,250 (250)	8,985 (183)	73.3%
7月3日(木) ～7月13日(日)	N+N2013(練馬区立美術館・日大芸術学部合同展) 油絵の魅力 - うつくしい いろ・かたち・マ ティエール - 世代を超えて伝わるもの	10	2,400 (240)	1,968 (197)	82.0%
7月20日(日) ～9月21日(日)	あしたのジョー、の時代展	55	19,250 (350)	14,014 (255)	72.8%
9月28日(日) ～11月30日(日)	見つめて、シェイクスピア!展 - 美しき装丁本と目で見る愛の世界 -	55	11,000 (200)	7,085 (129)	64.4%
合 計		169	44,900 (266)	32,052 (190)	71.4%
前年度		207		54,586 (264)	前年度比 58.7%

(イ) 2階常設展示室によるコレクション展

観覧者数は、同時開催の企画展がある場合はその観覧者数、ない場合は常設展示室の入場者数から

開催期間	展覧会	開催 日数	観覧者目標 (1日当り)	観覧者実数 (1日当り)	目標比 (%)
6月13日(金) ～7月13日(日)	練馬区立美術館コレクション展 シリーズ時代と美術2 1955年～70年 大沢昌助 人物の構図を 中心に	27	6,750 (250)	5,282 (196)	78.3%
12月6日(土) ～2月8日(日)	俵有作展 - 水墨の波動 - レオナルドを慕い、山水に遊び、ミシヨを想う	51	12,750 (250)	12,485 (245)	97.9%
合 計		78	19,500 (250)	17,767 (228)	91.1%
前年度		83	観覧者数 1日当り	20,477 (247)	前年度比 86.8% 92.3%

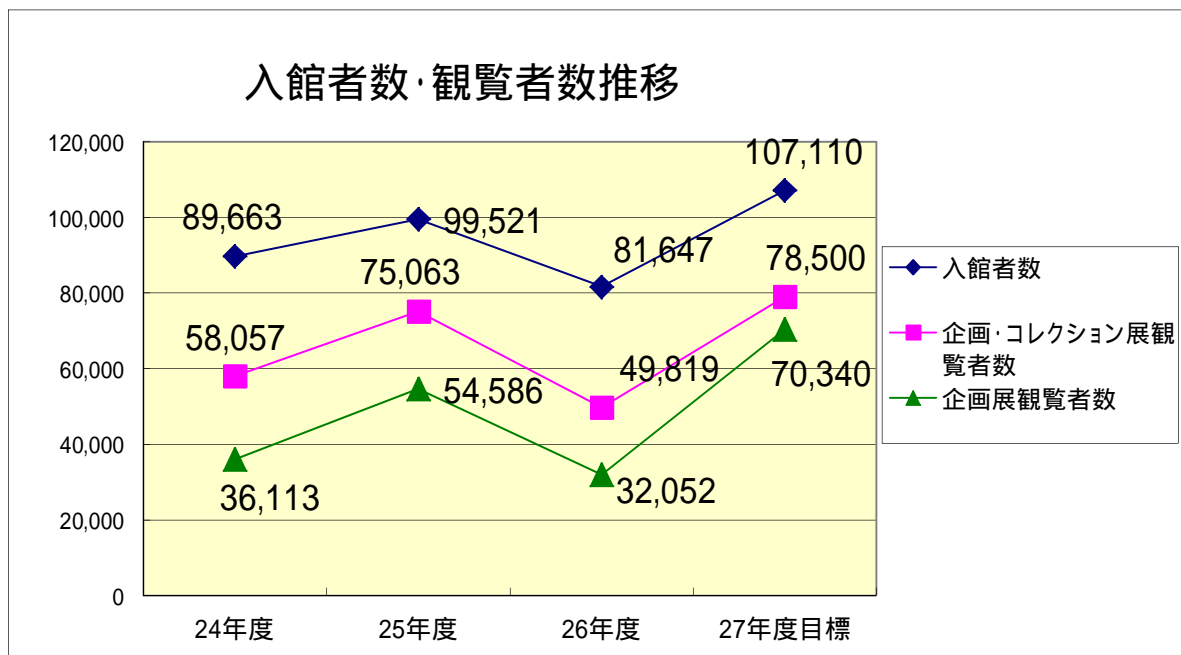
企画展・コレクション展観覧者数(実数)比較	25年度	26年度	前年度比
	75,063	49,819	66.4%

2月9日から3月31日まで収蔵庫改修工事のため展覧会休止。この分を取り戻すべく「松林桂月」展、「あしたのジョー、の時代展」、「見つめて、シェイクスピア!」展ともに意欲的な目標を設定した。それぞれのジャンルでクオリティと話題性を追求、それなりに注目を集めたが、PRが充分行き渡らなかったこともあり、目標を大きく下回ることとなった。

(ウ) 各種展覧会

開催期間	展覧会	開催日数	観覧者実数 (1日当り)	
6月13日(金) ～6月22日(日)	第60回練馬区美術家協会展	9	1,284 (143)	
1月10日(土) ～1月14日(水)	中学校生徒作品展	4	3,540 (885)	
1月18(土) ～1月22日(木)	小学校連合同工展	5	8,541 (1,708)	
1月24日(土) ～1月25日(日)	小・中学校連合書初め展	2	10,370 (5,185)	
1月31日(土) ～2月8日(日)	第46回練馬区民美術展	8	2,272 (284)	
合 計		28	26,007 (929)	前年度比 93.2%
前年度		29	27,915 (963)	

入館者数比較	25年度	26年度	前年度比
	99,521	81,647	82.0%



開催要項

1 開催趣旨

日本画家、松林桂月（1876～1963）は明治・大正・昭和の三つの時代を生き、数々の名作を残した近代を代表する日本画家である。山口・萩に生まれた桂月は、幼い頃から絵を好み、東京に出て文人画家・渡辺華山の孫弟子にあたる野口幽谷に師事し、精緻で格調高い表現を学んだ。また、親しんでいた漢詩の教養を活かして、詩・書・画の三絶の境地を目指す文人画 南画を描いたことも特筆される。桂月は、南画の真髄ともいべき水墨画においては他の画家の追隨を許さず、その独特の叙情的な作風は高く評価され、1958年には文化勲章を受章している。本年は、桂月が世を去ってから50年という節目の年に当たる。この半世紀の間に開催された大規模な展覧会は、桂月の没後間もなく門人たちによって開催された遺作展と、1983年に山口県立美術館で開催された「松林桂月 その墨と色彩の妙」展のみで、近年にはその芸術を通覧できる機会はほとんどありません。そのため、桂月の名も、画も、一部の美術愛好家だけが知るところとなりつつあることが惜しまれるところであった。本展は、30年ぶりとなる回顧展として、初公開を含む大作、名品で、詩書画の全てに優れた才能を示し、近代にあって水墨画の表現を極めた、桂月の豊かな芸術世界を紹介した。

- 2 会期 平成26年4月13日（日）～6月8日（日）
*巡回 山口県立美術館 平成25年8月8日～9月16日
田原市博物館 11月30日～1月13日
- 3 主催 練馬区立美術館 / 日本経済新聞社
協力＝ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン
- 4 助成 公益法人 花王芸術・科学財団
- 5 展示内容 掛軸、屏風、下図、資料ほか 約100点
- 6 図録 『没後50年 松林桂月展』を制作
(975冊販売、購入比率11%)
- 7 観覧料 有料
- 8 イベント ゲストによるギャラリートーク(野地耕一郎、浅見貴子、加藤良造)講演会(村田隆志)、読み語り(銀河万丈 浅田次郎作『江戸残念考』)、コンサート(琵琶:荒井靖水、箏:荒井美帆)ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンコンサート(バイオリン:土谷茉莉子 加藤美菜子 ヴィオラ:小倉萌子 チェロ:山田健文)
- 9 観覧者 8,985人(183人/日)初見込:12,250人(250人/日)
- 10 担当 学芸員 加藤陽介

練馬区立美術館コレクション展 シリーズ時代と美術2
「1955～70年 大沢昌助(人物の構図)を中心に」

開催要項

1 開催趣旨

練馬区立美術館の開館30周年に向けたコレクション展の、第2回目を開催した。
当館の所蔵品約3,200点(寄託作品含む)は、近現代の日本の作家を中心に収集されてきた。
「時代と美術」と名付けたこのシリーズは、作品や作家を単体で眺めるのではなく、それぞれがどのような時代背景の中で生まれ、どのような役割を担ってきたのかという視点を持ち展開していく。今回は1955～70年の高度経済成長期に焦点を当て、大沢昌助を中心に、岡本唐貴、小野木学、小野具定、オノサトシノブ、近藤竜夫、白髪一雄、高山良策、中村宏、牧野邦夫、山口長男らの作品を展示した。

2 会期 平成26年6月13日(金)～7月13日(日)

3 主催 練馬区立美術館

4 内容 絵画、版画、彫刻等 48点

5 図録 リーフレット(A3二ツ折)を作成・無料配布

6 観覧料 無料

7 イベント
ギャラリートーク(2回開催)
鑑賞プログラム「トコトコ美術館」(4回開催)
講師：当館学芸員 対象：3～6歳+保護者
ワークショップ(1回開催)
講師：当館学芸員 対象：小学生～大人

8 観覧者見込 5,282人(196人/日) 当初見込6,750人(250人/日)

9 担当 学芸員 真子みほ

N + N 展 2014

「油絵の魅力 うつくしい いろ・かたち・マティエール 世代を超えて伝わるもの」

開催要項

1 開催趣旨

6 回目を迎える、日本大学芸術学部（日藝）美術学科と練馬区立美術館との共同企画展。今回は、卒業生や教員を含み、現代洋画壇で活躍する油彩画の作家、20 余名による展覧会。各作家は、近作及び初期作品を併せて出品し、これらを並べて展示することで「日藝絵画」に世代を超えて伝わる基軸を視覚的に浮かび上がらせようとする試みとなった。なお、この展覧会は平成 26 年度日本大学芸術学部長指定研究の一環として開催された。

《参加作家》 笠井誠一、赤堀尚、佐藤泰生、石田淳一、蛭子真理央、太田冬美、大庭英治、大山智子、櫻井孝美、瀬島匠、高橋和正、寺久保文宣、福島唯史 他 24 名

2 会期 平成 26 年 7 月 3 日（木）～7 月 13 日（日）

3 主催 練馬区立美術館 / 日本大学芸術学部美術学科

4 内容 油彩画 52 点を展示

5 図録 日本大学芸術学部美術学科が記録集を制作した。

6 観覧料 無料

7 イベント ギャラリートーク（笠井誠一、赤堀尚、蛭子真理央、寺久保文宣、福島唯史、傍島幹司、竹原祥司）および 講演会（三浦高宏）を開催した。

8 鑑賞者見込 1,968 人（197 人/日） 当初見込 2,400 人（240 人/日）

9 担当 学芸員 真子みほ

「あしたのジョー、の時代」展 開催要項

1 開催報告

練馬区在住の高森朝雄とちばてつやによるボクシング漫画「あしたのジョー」をキーワードに、この漫画が連載された1967年から73年の芸術文化を紹介する展覧会を開催した。

本展では、「あしたのジョー」の作品世界をちばてつやによる原画やジオラマ、アニメ関連資料、キャラクターグッズから構成。寺山修司らが1970年に現実に開催したキャラクターの葬儀を再現するなど、熱狂的な「あしたのジョー」の受容の様相を概観した。また、「あしたのジョー」と時代の空気を共有するパフォーマンスを紹介したほか、当時、「あしたのジョー」の読者であった漫画家やデザイナーによるオマージュ作品や連載終了後から長く発行続けた同人誌を展示するなど、「あしたのジョー」の今日への影響を探った。

2 会期 平成26年7月20日(日)～9月21日(日)

3 主催 練馬区立美術館 / 朝日新聞社

4 特別協力 高森篤子、ちばてつやプロダクション、講談社、
協力 トムス・エンタテインメント、虫プロダクション、JAGDA、ACC
協賛 スポーツニッポン新聞社 ブラザー販売株式会社
助成 芸術文化振興基金

5 内容 原画約150点、印刷物約100点、美術作品・写真約70点。

6 図録 図録兼書籍として刊行 (求龍堂 2700円 全国図書館選定図書)。

7 観覧料 有料

8 イベント 講演会(ちばてつや 聞き手 高取英)、ワークショップ、読み語り(銀河万丈 笹沢佐保『木枯し紋次郎』「土煙に絵馬が舞う」ほか)、パフォーマンス(昭和精吾ほか)、ギャラリートーク(館長・藤森益弘)、担当学芸員によるギャラリートーク2回

9 鑑賞者数 14,014人(255人/日) 当初見込 19,250人(350人/日)

10 担当 学芸員 喜多孝臣

11 その他 朝日新聞(12月7日)、読売新聞(12月11日)の美術界回顧記事で取り上げられた。

見つめて、シェイクスピア！

美しい装丁本と絵で見る愛の世界

開催要項

1 開催趣旨

2014年は、16世紀イギリス(イングランド)を代表する劇作家で詩人、ウィリアム・シェイクスピア(William Shakespeare, 1564-1616)の生誕450年にあたり、これを記念して、シェイクスピアをテーマに展覧会を開催した。

本展には、大きく分けて2つの主役が存在したが、そのひとつは約90点にのぼる個性豊かな皮革装丁本である。この皮革装丁本は、世界でも権威あるイギリスの製本装丁家協会「デザイナー・ブックバインダーズ」によって、2013年に開催された「第2回デザイナー・ブックバインダーズ国際製本コンペティション」の入賞作品である。今回のコンペティションのテーマは、「シェイクスピア」。世界中の装丁家たちによって、シェイクスピアの作品から得たイマジネーションに基づき、装丁が施されている。

もうひとつの主役は、シェイクスピアの作品に主題を得た絵画作品や挿絵本の数々である。フランス・ロマン主義の旗手、ウジェーヌ・ドラクロワによる版画《ハムレット》やエコール・ド・パリの画家、マルク・シャガールの版画による挿絵本《テンペスト》、またイギリスの挿絵画家アーサー・ラッカムやアーツ・アンド・クラフツのメンバーでもあったウォルター・クレインによる美しい挿絵本などを紹介した。

- 2 会期 平成26年9月28日(日)～11月30日(日)
巡回：滋賀県立近代美術館 平成27年2月7日(土)～4月5日(日)
- 3 主催 練馬区立美術館 / 東京新聞
- 4 後援 ブリティッシュ・カウンシル / 一般社団法人 日英協会 / デザイナー・ブックバインダーズ
- 5 企画協力 マンゴスティン
- 6 展示内容 皮革装丁本、版画、古書(挿絵本)を中心とした約260点
- 7 図録 オリジナル制作。(2500円)
- 8 観覧料 有料
- 9 イベント 講演会(河村錠一郎) ワークショップ(デザイナー・ブックバインダーズ、他)
読み語り(銀河万丈 島村洋子「てなもんやシェイクスピア」他)
講演・朗読(劇団山の手事情社)
- 10 観覧者 7,085人(129人/日) 当初見込11,000人(200人/日)
- 11 担当 学芸員 小野寛子

俵有作展 水墨の波動

レオナルドを慕い、山水に遊び、ミショーを想う

開催要項

1 開催趣旨

^{たわらゆうさく}
俵有作（1932～2004）は日本の古玩具・古民具の収集家であり、何冊もの研究書を上梓した古玩具研究者として一面と共に、水墨を基調としたドローイング作品を発表し続けた作家である。絵は独学で学んだものの、芹沢銈介や猪熊弦一郎らに愛された彼の作品は、あるものは書を想起させ、またあるものは山水画、そして仏画をイメージさせる。

ダヴィンチを慕い、南宋山水画に遊び、アンリ・ミショーを想う…。

静かなる観念世界を墨の濃淡と微妙な筆致で現出させる稀有な美術家であると言える。

練馬区に長年暮らした、ゆかりの作家ではあるものの、国内よりむしろ海外で高い人気と評価を得ており、今回の展示も米国・インディアナポリス美術館、ヒューストンのアジア・ソサエティを巡回しての凱旋展であると同時に、国内の美術館では初めての展覧会として開催した。

- 2 会期 平成26年12月6日(土)～平成27年2月8日(日)
- 3 主催 練馬区立美術館
- 4 展示内容 掛軸、リトグラフ、資料ほか 約75点
- 5 図録 『俵有作 水墨の波動』（販売価格800円。制作部数1000部、完売）
- 6 観覧料 無料
- 7 イベント ゲストによるギャラリートーク（土岐千尋氏、尾久彰三氏）
担当学芸員によるギャラリートーク
- 8 観覧者数 12,485人(244人/日)（目標観覧者数12,750人）
- 9 担当 学芸員 加藤陽介

平成26年度 企画展・コレクション展関連事業

1	「松林桂月」展（平成26年4月13日～6月8日）		
(1)	ゲストによるスペシャルトーク	2回	145人
(2)	講演会	1回	72人
(3)	読み語り	1回	64人
(4)	コンサート	2回	232人
		計	513人
2	練馬区立美術館コレクション展 シリーズ 時代と美術2（平成26年6月13日～7月13日）		
(1)	ギャラリートーク	2回	60人
(2)	ワークショップ	1回	20人
(3)	鑑賞プログラム	4回	41人
		計	121人
3	N+N展 2014 「油絵の魅力 うつくしい いろ・かたち・マティエール 世代を超えて伝わるもの」（平成26年7月3日～7月13日）		
(1)	ギャラリートーク	1回	140人
(2)	講演会	1回	53人
		計	193人
4	あしたのジョー、の時代展（平成26年7月20日～9月21日）		
(1)	ワークショップ	12回	87人
(2)	パフォーマンス「力石徹への弔辞」	1回	210人
(3)	ギャラリートーク	3回	130人
(4)	ちばてつやトークショー	1回	75人
(5)	コンサート	1回	120人
(6)	読み語り	1回	84人
		計	706人
5	「見つめて、シェイクスピア！展」（平成26年9月28日～11月30日）		
(1)	ワークショップ	3回	53人
(2)	講演会	1回	72人
(3)	読み語り	1回	54人
(4)	講演&朗読	1回	73人
		計	252人
6	「俵有作展 - 水墨の波動 -」（平成26年12月6日～2月8日）		
(1)	ゲストトーク	2回	80人
(2)	ギャラリートーク	1回	16人
(3)	鑑賞プログラム	4回	40人
		計	136人
	参加者数計		1,921人 (25年度 3,391人)

平成 26 年度 広報活動と反響

1. 広報活動の取り組み

方針 多様な媒体を利用し、周知・集客に努める。
コレクションを使った常設展(小規模展)の広報も積極的に行う。

(1) 展覧会のチラシ・ポスターの印刷

(2) 「美術館ニュース」の発行(年 1 回)

(1)(2)は全国美術館、関係者、区内施設等に発送

展覧会のポスターは、町会掲示板にも掲出依頼

(3) 美術館ホームページ

平成 23 年 7 月からブログ開始。

ホームページ内の収蔵作品データベースへの平成 26 年度年間アクセス数は、2 月末日現在 8,223 件。

(4) マスコミへの情報発信

新聞・雑誌・地域コミュニティ紙・ウェブサイト等にプレスリリースを発信し、主に掲載料無料のものを利用している。

26 年度の松林桂月展、あしたのジョー展、シェイクスピア展で美術関係の PR 会社にリリース配信を委託。

(5) 交通広告

年間を通して中村橋駅に案内看板を設置。

企画展覧会によってポスターの駅貼り広告等。

平成 26 年度から、みどりバスへのポスター掲出を実施。

(6) 新聞広告

平成 26 年度は、行わず。

(7) その他

ぐるっとパス 平成 23 年度から実施

ミュージーボン 平成 22 年 12 月 2 日から

2. 平成 26 年度展覧会に対する反響

(1) 没後五 年 松林桂月展 水墨を極め、画中に詠う (平成 26 年 4 月 13 日～6 月 8 日)

< テレビ >

TOKYO MX 「アートステージ」 5 月 19 日

J-COM「アートナビ」 4 月 1 日～15 日

< 新聞 >

日本経済新聞 3 月 16 日、4 月 7、20 日朝刊、4 月 3 日、5 月 1 日夕刊

朝日新聞 4 月 9 日夕刊、6 月 4 日朝刊

読売新聞 平成 25 年 8 月 29 日朝刊 産経新聞 5 月 15 日

<美術雑誌>	
月刊美術 5月号	月刊水墨画 4月号
美術の窓 5月号	
<地域情報誌>	
メディ・あさお 5月号	池袋15' 6月号
定年時代 平成26年5月下旬号	光が丘ima'am 4・5月号
びいーゆ 5月号	
<WEB>	
インターネットミュージアム	ぶらり美術館
練馬経済新聞	G-Call
個展なび	他

(2) 練馬区立美術館コレクション展 シリーズ時代と美術2

「1955～70年 大沢昌助 人物の構図 を中心に」 (平成26年6月13日～7月13日)

<新聞>	
東京新聞 木曜朝刊「ほとなび 情報の道しるべ」	
東京新聞 6月15日	

(3) N+N展2014 油絵の魅力 うつくしいいろ・かたち・マティエール 時代を超えて伝わるもの

(平成26年7月3日～7月13日)

<新聞>	
読売新聞 6月24日夕刊	東京新聞 7月3日朝刊
新美術新聞 7月1日	美じょん新報 第178・179合併号
<地域情報誌>	
月刊かっせ 7月号	
<WEB>	
arts cene	TOKYO ART BEAT
練馬区知っ得まちネット	Museum Cafe 他

(4) あしたのジョー、の時代展

(平成26年7月20日～9月21日)

<テレビ・ラジオ>	
NHK「ひるまえほっと」 8月7日	
フジテレビ「めざましテレビ」 8月8日	
FM東京「ブルーオーシャン」 7月24日	
<新聞>	
東京新聞 7月17日、8月8、28日、9月14日	
朝日新聞 7月11、23日、9月17日、12月17日(回顧記事)	
読売新聞 7月25日、9月4日、12月11日(回顧記事)	
週刊あしたのジョー(スポーツニッポン新聞タブロイド紙) 7回掲載	
スポーツニッポン新聞 7月20日	信濃毎日新聞 8月7日
日本経済新聞 7月27日、8月23日	日刊ゲンダイ 9月5日

三陸新報 8月26日	都政新報 8月29日
房日新聞 9月4日	練馬新聞 7月12日
徳島新聞 8月23日	函館新聞 9月13日
東洋経済日報 7月4日	毎日小学生新聞 8月9日号
<美術雑誌>	
月刊ギャラリー 8月号	美術の窓 8月号
<雑誌>	
ノジュール 8月号	ハイパーホビー 8・9月号
エンタミクス 8月号	フォーブスジャパン 10月号
東京ウォーカー 8月号	懸賞なび 9月号
週刊ポスト 9月26日号	
<地域情報誌>	
ぱど 7月号	西武ニュース 8月号
池袋15' 8月号	月刊かっせ 8月号
びーゆ 8月号	いーじーぷれす 8月号
ネリクリ Vol.0	荻窪百点 Vol.298
<WEB>	
インターネットミュージアム	WEBフェーマス
Let's Enjoy TOKYO	青い日記帳
ぶらり美術館	練馬区観光協会HP
ミニシアター通信	JR東日本「旅どきnet」
タイムアウト東京	Pen On line
大人のカルチャーガイド	G-Call
練馬経済新聞	Walker Plus
個展なび	練馬アニメーションサイト
地球の歩き方「日本の歩き方」	チラシミュージアム 他

(5) 見つめて、シェイクスピア展 美しき装丁本と絵で見る愛の世界

(平成26年9月28日～11月30日)

<テレビ・ラジオ>	
J-COM「アートナビ」11月後半	
FM東京「クロノス」10月10日	
<新聞>	
東京新聞 9月17、25、28日、11月23日朝刊	
読売新聞 11月4、11、18、25日夕刊	読売新聞福岡版 10月2日朝刊・夕刊
朝日新聞 9月24日夕刊	日本経済新聞 10月11日夕刊
神奈川新聞 11月4日	The Japan Times 9月26日
都政新報 10月31日	
<雑誌>	
MOE 11月号	CONFORT 12月号

SPRING 11月号 家庭画報 12月号	BCCJ ACUMEN 10月号
<地域情報誌>	
メディあさお 10月号 池袋15' 10、11、12月号 定年時代 9月下旬号 月刊かっせ 10、11月号 びーゆ 10月号	月刊武州路 11月号 西武ニュース笑顔びより 10月号 Day Art Vol.13 シティオペラ 10月号 日英協会会報誌
<WEB>	
東京新聞ほっとメルマガ JR東日本「旅どきnet」 じゃらんnet インターネットミュージアム ぶらり美術館 練馬経済新聞 G-Call 個展なび Art Annual Online チラシミュージアム	Walker plus 東京 イベニア Media & Communication FASHION PRESS Time Out Tokyo 新美術新聞 旅ぶくろ PLACEHUB 日英協会インフォメーション 他

(6) 俵有作展 水墨の波動 レオナルドを慕い、山水に遊び、ミシヨーを想う

(平成26年12月6日～平成27年2月8日)

<テレビ>	
NHK「日曜美術館アートシーン」1月4日	
<新聞>	
東京新聞 1月6日朝刊	
<美術雑誌>	
月刊展覧会ガイド 1月号 月刊ギャラリー 12、1月号	月刊絵手紙 12月号 月刊書道界 1月号
<雑誌>	
月刊ドレス 1月号	
<地域情報誌>	
情報誌ぱど 12月26日号 池袋15' 1月号 月刊かっせ 1月号	月刊武州路 12月号 光が丘ima'am 12・1月号
<WEB>	
チラシミュージアム	他

(7) 次年度予告

<テレビ> 小林清親展 NHK日曜美術館 2月22日 45分枠
<新聞> 舟越保武展 日本経済新聞社 2月25日

(8) その他 館長記事

<新聞> 夕刊フジ ベストマッチング 1月20日
朝日新聞 「練馬のやってみなはれ 開館30周年 美術の森緑地」
2月25日

3. 展覧会放送・掲載回数

	26年度	25年度	24年度	23年度	22年度
テレビ・ラジオ	9	13	12	11	11
新聞	65	55	57	62	62
美術雑誌	13	25	27	29	28
地域情報誌・その他 の雑誌	48	44	47	39	44
WEB	47	60	49	35	31
計	182	197	192	176	176

その他ブログ・ツイッターなど多数

(2)教育普及事業

平成26年度 教育普及事業実績

平成27年3月末日現在

館内事業

） 展覧会関連 (各展覧会を楽しむ)

関連ワークショップ・講座

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
コレクション展 関連ワークショップ	わたしのれきし 年表を作る2	6月29日(日) 13:30~17:00	真子 みほ (当館学芸員)	展覧会鑑賞後「ひとつにつ ながっていること」をルール として様々な材料で自分の 年表を作った	小学生以 上	300	20	11	9
あしたのジョー展 関連美術講座	つけペンで描く自画 像[A]	8月2日(土) 10:30~16:00	真子 みほ (当館学芸員)	展覧会鑑賞後、漫画を描く ときに使う「つけペン」を練 習し、イラストボードに自画 像を描いた	小学4年 生 ~中学生	1000	20	4	4
	つけペンで描く自画 像[B]	8月3日(日) 10:30~16:00					20	15	14
あしたのジョー展 関連ワークショップ	わたしの好きな歌 レコードジャケットを デザインしよう[A]	8月8日(金) 13:30~17:00	真子 みほ (当館学芸員)	展覧会鑑賞後、70年代の レコードジャケットを眺めな がら、自分の好きな歌をイ メージして厚紙とアクリル絵 の具を使い30センチ角の レコードジャケットをデザイ ンした	小学生	500	20	8	8
	わたしの好きな歌 レコードジャケットを デザインしよう[B]	8月9日(土) 13:30~17:00					20	13	13
	「立つんだジョー！」 紙人形でボクシング	8月10日(日) 14:00~16:00	古屋貴広(デザイ ナー)	展覧会鑑賞後キャラクター を考えながら厚紙でボク サーを作りボクシング大会 を行った	5歳~ 小学3年 生	100	20	5	5
	ジーンズをリメイクし よう	8月15日(金) 13:30~17:00	真子 みほ (当館学芸員)	70年代を象徴するアイテム ジーンズに注目しながら展 覧会を鑑賞した後、持って きたジーンズを新しいアイ テムに作り替えた	小学生	500	15	10	10
	ジーンズをリメイクし よう	8月16日(土) 13:30~17:00					15	2	2
	ジーンズをリメイクし よう	8月17日(日) 13:30~17:00					15	7	6
シェイクスピア展 関連ワークショップ	Stratum Spine Binding (地層のような背) シングルセクション革 背装の本を作る	9月28日(日) 14:00~16:30	マーク・コックラ ム、國方コック ラムみどり(デザ イナー・ブックバイ ンダース正会員)	イギリスならではの素材を 使って革表紙のシングル セクション(一折り)の本を 作った	中学生以 上	2500	20	104	20
	一折りから始める製 本	11月15日 (土) 13:30~17:00	レ・フラグマン・ ドゥ・エム 製 本家・箔押し 師ユニット)	冊子本の最小単位である 一つ折りを、表紙とともに 糸で中綴じすることから始 め、マーブル紙を表紙にし た複数折りの綴じにも挑戦 した	中学生 以上	2000	20	79	19
	本の過去を知る 中 世の製本	11月16日(日) 13:30~17:00		支持体によって表紙を連 結させる中世の糸綴じ製 本に挑戦した	中学生 以上	2000	15	86	14
						220	344	124	

計12回 参加者延124名

昨年度 計12回 参加者延179名

ギャラリートーク

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
松林桂月展	5月25日(日) 15:00～	浅見貴子(画家) × 野地耕一郎(泉 屋博古館分館学 芸課長)	ナビゲーターとゲストによる ギャラリートーク		観覧料			75
	5月31日(土) 15:00～	加藤良造(画家) × 野地耕一郎(泉 屋博古館分館学 芸課長)						70
コレクション展	6月14日(土) 14:00～14:30	真子 みほ (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラ リートーク		無料			30
	6月28日(土) 14:00～14:30							20
N+N展2014	7月5日(土) 15:30～17:00	赤堀尚、笠井 誠一、傍島幹 司、竹原祥 司、寺久保文 宣、蛭子真理 央、福島唯史 (作家)	出品作家7名によるギャラ リートーク		無料			140
あしたのジョー展	8月23日(土) 15:00～	喜多孝臣 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラ リートーク		観覧料			30
	9月6日(土) 15:00～	藤森益弘(作家・ 評論家)×若林 覚(当館館長)	展覧会協力者の藤森氏と 当館館長によるギャラリ ートーク		観覧料			60
	9月13日(土) 15:00～	喜多孝臣 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラ リートーク		観覧料			40
依有作展	12月13日(土) 15:00～	土岐千尋 (空漆工芸家)	依有作ゆかりのゲストによ るトーク		無料			20
	12月20日(土) 15:00～	加藤陽介 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラリ ートーク		無料			16
	1月10日(土) 15:00～	尾久彰三 (民藝研究者)	依有作ゆかりのゲストによ るトーク		無料			60
								561

計11回 参加者延561名

昨年度 計20回 参加者延1,778名

講演会、シンポジウム等

事業名	日程	講師・パネリスト	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
松林桂月展開 連講演会	5月10日(土) 14:00～15:30	村田隆志 (大阪国際大学専 任講師)	展覧会の監修者村田氏 に、松林桂月の画業につ いてお話しいただいた(於 視聴覚室)	中学生 以上	無料	70	70	72
N+N展関連講 演会	7月12日(土) 14:00～15:30	三浦高宏 (出品作家)	本展の出品作家であり油 絵の材料についての専門 家である三浦氏にお話し いただいた(於視聴覚室)	中学生 以上	無料	60	50	53
あしたのジョー 展関連	8月9日(土) 15:00～	ちばてつや(漫 画家)、高取 英 (劇作家・マンガ評 論家)	ちば氏と高取氏によるあ したのジョーについてのト ークショーを行った(於サンライ フ練馬)	中学生 以上	観覧料	70	374	75

シェイクスピア 展関連講演会	「描かれたシェイクス ピア」	10月18日(土) 14:30～16:00	河村 錠一郎 (一橋大学大学院 名誉教授)	シェイクスピア作品をモ チーフとした表現の歴史に ついてお話しいただいた (於視聴覚室)	中学生 以上	展覧会 観覧料	70	94	72
シェイクスピア 展関連講演会 & 朗読	「シェイクスピアの舞 台の作り方～演出家 の仕事～」	11月22日(土) 14:30～16:00	安田雅弘(劇団 山の手事情社主 宰・演出家)、倉 品淳子(劇団山 の手事情社俳優)	劇団でのシェイクスピア作 品の取り上げ方について のお話と作品朗読を行っ た(於視聴覚室)	中学生 以上	展覧会 観覧料	70	157	73
							340	745	345

計5回 参加者延345名

昨年度 計5回 参加者延305名

コンサート・ライブパフォーマンス

事業名	日程	出演	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
松林桂月展関連	記念コンサート 薩摩琵琶と琴による 演奏会	4月27日(土) 15:00～16:00	荒井靖水(薩摩琵琶)、荒井美帆(琴)			無料		117	
	ラ・フォルジュルネ スペシャルコンサート	4月26日(土) 15:00～16:00	土谷茉莉子(ヴァイオリン)、小倉萌子(ヴィオ ラ)、加藤美菜子(ヴァイオリン)、山田健史 (チェロ)			無料		115	
	読み語り	5月24日(土) 15:00～	銀河万丈(声優)	浅田次郎「江戸残念考」等 読み語り(貫井図書館共同主 催)	中学生 以上	展覧会 観覧料	70	73	64
あしたのジョー展 関連	パフォーマンス 「力石徹への弔辞」	8月3日(日) 15:00～	昭和精吾(元「劇 団天井桟敷」団員)	1970年3月力石徹告別式 での弔辞朗読の再現を 行った		展覧会 観覧料		210	
あしたのジョー展 関連 読み語り	読み語り	8月30日(土) 15:00～16:30	銀河万丈(声優)	笹沢左保「土煙に絵馬が 舞う」等の読み語り(貫井図 書館共同主催)	中学生 以上	展覧会 観覧料	70	93	84
シェイクスピア展 関連	読み語り	10月5日(土) 15:00～16:30	銀河万丈(声優)	(貫井図書館共同主催)	中学生 以上	展覧会 観覧料	70	100	54
								644	

計6回 鑑賞者延644名

昨年度 計10回 参加者延1,049名

鑑賞プログラム

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
コレクション展	トコトコ美術館 [A] vol.12「赤」	6月21日(土) 10:30～11:30	眞子みほ (当館学芸員)	展示室内で「赤い絵」を親 子で探した後、イエラ・マリ の絵本『あかいふうせん』を 皆で見、1人一枚の画用紙 上に色紙やセロファンなど 様々な赤い素材で切り絵 を作った	3～6歳 + 保護 者 (子ども1 ～2名+ 保護者1 名)	無料	各回 5組	7組 15名	4組 9名
	トコトコ美術館 [B] vol.12「赤」	6月21日(土) 14:00～15:00						5組 10名	5組 10名
	トコトコ美術館 [C] vol.12「赤」	6月22日(日) 10:30～11:30						8組 18名	5組 12名
	トコトコ美術館 [D] vol.12「赤」	6月22日(日) 14:00～15:00						4組 8名	5組 10名
俵有作展	トコトコ美術館 [A] vol.13「墨」	1月24日(土) 10:30～12:00	墨の説明後展示室内で 「墨を使っていない絵」を 親子で探した後、マリー・ ホール・エッツの白黒の絵 本『もりのなか』を皆で見、 創作室に移って墨絵体験 を行った					7組 14名	5組 10名
	トコトコ美術館 [B] vol.13「墨」	1月24日(土) 14:00～15:30						5組 10名	5組 10名
	トコトコ美術館 [C] vol.13「墨」	1月25日(日) 10:30～12:00						11組 24名	5組 11名

トコトコ美術館 [D] vol.13「墨」	1月25日(日) 14:00～15:30					6組 13名	4組 9名
							81

計8回 参加者延81名
昨年度 計4回 参加者延26名

）美術講座（美術に関する知識を学ぶ）

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
日本美術史	9月13日(土) 13:30～15:00	加藤陽介 (当館学芸員)	浮世絵美人画の歴史を紹介し、その中で歌麿の位置を確認するとともに近年発見された歌麿作品の解説をおこなった(於視聴覚室)	中学生以上	無料	70	120	68
日本刺繍	9月21日(日) 10:30～17:00 10月5日(日) 10:30～17:00 10月19日(日) 10:30～17:00	宗 真理子 (女子美術大学非常勤講師)	キャンバス枠に絹布を張ることからはじめ、糸を撚り20cm×20cmの額絵を制作した 図案は講師が設定し、糸の色は受講者が個々に選んだ	中学生以上	3000	20	38	19
版画	10月11日(土) 10:30～17:00 10月12日(日) 10:30～17:00	齋藤美穂子 (町田市立国際版画美術館普及係学芸員)	厚紙で刷り台を作り、はがきサイズのガリ版作品を制作した	中学生以上	4000	20	22	20
日本美術史	11月1日(土) 14:00～15:30	小倉絵里子 (高崎市タワー美術館学芸員)	仏師・運慶の作品を画像をふんだんに用いてお話しいただいた(於視聴覚室)	中学生以上	無料	70	138	70
西洋美術史	12月20日(土) 14:00～15:30	小野寛子 (当館学芸員)	印象派の画家の描いた、パリを中心とするイル＝ド＝フランスの風景をセーヌ川に沿って解説した(於視聴覚室)	中学生以上	無料	70	145	54
						250	463	231

計5回 参加者延231名
昨年度 計3回 参加者延82名

）美術館を楽しむワークショップ(人が集う「場」作り)

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
四季のみじたく ① 夏のみじたく 「音を装う 音の形の ブローチ作り」	7月6日(日) 10:30～17:00	前田真理子 (アクセサリーデザイナー)	「音」の形をイメージして、金属やアクリル等様々な材料でブローチを作った	小学4年生以上	1000	20	46	21
美術館をつかまえる!?館内探検と フロッタージュ遊び[A]	8月22日(金) 10:30～12:30	真子みほ (当館学芸員)	バックヤードを巡りながらいくつかの箇所では色鉛筆でフロッタージュをし、さまざまな場所を「採集」する。探検から戻ったら採集した紙を毛糸で綴じ標本として持ち帰った	5歳～ 小学3年生	100	10	10	10
美術館をつかまえる!?館内探検と フロッタージュ遊び[B]	8月22日(金) 14:00～16:00					10	10	10
美術館をつかまえる!?館内探検と フロッタージュ遊び[C]	8月23日(土) 10:30～12:30					10	9	7
美術館をつかまえる!?館内探検と フロッタージュ遊び[D]	8月23日(土) 14:00～16:00					10	3	2
四季のみじたく ② 秋のみじたく 「秋に似合うクルミボタン」	10月4日(日) 13:30～17:00	宮園夕加 (ボタンデザイナー)	自分の好きな布やビーズなどを組み合わせてクルミボタンを作った	小学4年生以上	800	20	22	21

四季のみじたく ⑳	冬のみじたく 「こぎん刺しで作る 栞」【A】	11月23日(日) 10:30～12:30	米山知歩 (こぎん刺し作家)	青森の伝統芸能であるこぎん刺しを、文様を自由に組み合わせ麻布の栞に施した	小学4年生以上	500	10	29	10
	冬のみじたく 「こぎん刺しで作る 栞」【B】	11月23日(日) 14:00～16:00					10	29	10
四季のみじたく ㉑	春のみじたく 「端ガラスで作るス テンドグラスの手 鏡」【A】	2月7日(土) 10:30～12:30	nido(ステンド グラスユニット)	様々な色形の端ガラスを各自がコラージュするように組み合わせ、手鏡を作った	中学生以上	1000	10	61	10
	春のみじたく 「端ガラスで作るス テンドグラスの手 鏡」【B】	2月7日(土) 14:00～16:00					10	55	10
							120	274	111
							計10回 延111名		

昨年度 計8回 参加者延93名

） その他

事業名	日程	講師・出演者	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
スタンウェイ・スクエアピアノ 寄託記念コンサート	8月2日(土) 15:00～16:00	重岡麻衣(ピアノ) 西江辰郎(ヴァイオリン)		自由参加				120	
軽井沢お泊り ワークショップ	「触れる 森と踊ろ う」 10月25日(土) ～26日(日) 1泊二日	東山佳永(踊り 手)	ベルデ軽井沢で一泊二日 のワークショップを行った。	小学生 ～大人 (小学生は 保護者と共 に申込)	大人 9,000 子ども 6,000	20	17	14	
貫井図書館× 美術館	ツアー【A】	2月8日(日) 10:00～12:00	桜田さん、斎 藤さん(図書館職 員) 真子みほ(当館 学芸員)	図書館と美術館の紹介の 後、2施設にまつわるブック トークを行い、図書館、美 術館の順に館内を巡った。 最後に創作室で大きな地 図を皆で描いた	小学生	無料	10	8	8
	ツアー【B】	2月8日(日) 14:00～16:00					10	9	7
							40	34	149
							計4回 延149名		

昨年度 計3回 参加者延49名

館内事業計61回 参加者延2,246名

昨年度 計65回 参加者延3,561名

学校関連事業

） スクールプログラム 4月にパンフレットを作成し区内小中高等学校に配布。申し込みの際は用紙に記入し送付していたが
団体鑑賞

展覧会	日程	内容	学校名	生徒数	引率
松林桂月展	6月3日(火) 13:30～		新座市立第六中学校・美術部	10	1
	6月7日(土) 10:30～11:30		武蔵大学・博物館資料論履修生	20	1
コレクション展	7月3日(木)		練馬区立関中学校・1年生	30	1

あしたのジョー展	8月1日(金) 16:30～18:00		早稲田大学文化構想学部丹後ゼミ生	25	1
	8月29日(金) 11:30～11:30	展覧会鑑賞と つけペン体験	練馬区立大泉桜学園・美術部	15	1
シェイクスピア 展	10月3日(金) 13:00～14:00		武蔵大学人文学部英語英米文化学科	22	1
	10月18日(土) 13:00～14:00		武蔵大学人文学部英語英米文化学科	15	1
	10月16日(木) 13:10～14:00		山崎学園富士見中学校・2年桜組	40	2
	10月21日(火) 11:40～12:30		山崎学園富士見中学校・2年桃組	41	2
	10月21日(火) 13:10～14:00		山崎学園富士見中学校・2年竹組	40	2
	10月21日(火) 14:10～15:00		山崎学園富士見中学校・2年菊組	40	3
	10月22日(水) 10:40～11:30		山崎学園富士見中学校・2年松組	41	1
	10月22日(水) 14:10～15:00		山崎学園富士見中学校・2年梅組	39	2
	11月7日(金) 14:10～15:00		山崎学園富士見高等学校・3年生	10	1
俵有作展	12月12日(金) 13:25～14:25	展覧会鑑賞と 水墨画体験	練馬区立練馬第三小学校・6年生	47	3
				435	23

計15回 延458名

昨年度 計17回 参加者延661名

施設見学 各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設を紹介した

コース名	日程	事前訪問日程	学校名	生徒数	引率
施設見学	5月20日(火) 13:30～14:30		日本大学芸術学部・博物館実習履修生	49	1
	5月23日(金) 13:30～14:30		日本大学芸術学部・博物館実習履修生		1
	6月7日(土) 14:00～15:00		立教大学・博物館資料論履修生	29	1
	9月11日(木) 16:00～18:00		実践女子大学・2年生	7	0
	10月28日(火) 10:30～11:00		都立大泉特別支援学校高等部・3年生	2	2
				87	5

計5回 延92名

昨年度 計5回 参加者延113名

職場体験・訪問 受付や事務、監視、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝えた

コース名	日程	事前訪問日程	学校名	生徒数	見回り
	6月25日(水) ～26日(木) 9:30～15:00	6月13日(金)	練馬区立関中学校・2年生	2	1

職場体験	6月26日(木) ~27日(金) 9:30~15:00	6月13日(金)	練馬区立石神井西中学校・2年生	2	1
		6月13日(金)	練馬区立大泉第二中学校・2年生	2	1
	7月10日(木) ~11日(金) 9:30~15:00	7月3日(木) 14:00~	練馬区立石神井中学校・2年生	3	1
	7月10日(木) ~11日(金) 9:30~15:00	6月20日(金) 14:00~	東京都立大泉高等学校附属中学校・2年生	2	1
	9月18日(木) ~19日(金) 9:30~15:00	9月12日(金) 14:00~	練馬区立貫井中学校・2年生	2	1
	10月2日(木) ~3日(金) 9:30~15:00	9月19日(金) 16:00~	練馬区立開進第一中学校・2年生	3	1
	10月2日(木) ~3日(金) 9:30~15:00	9月30日(火) 16:00~	練馬区立光が丘第三中学校・2年生	3	1
	11月6日(木) ~7日(金) 9:30~15:00	10月30日(木) 14:00~	練馬区立大泉学園中学校・2年生	3	1
	11月27日(木) ~28日(金) 9:30~15:00	11月14日(金) 15:00~	練馬区立豊玉中学校・1年生	1	1
	2月3日(火) 9:30~15:00	12月11日(木) 1月15日(木)	練馬区立中村中学校・1年生 病気・けがの為当日中止、事前学習のみ対応	2	1
2月5日(木) ~6日(金) 9:30~15:00	1月27日(火) 14:00~	練馬区立開進第二中学校・1年生	3	1	
				28	12
				計12回 延40名	

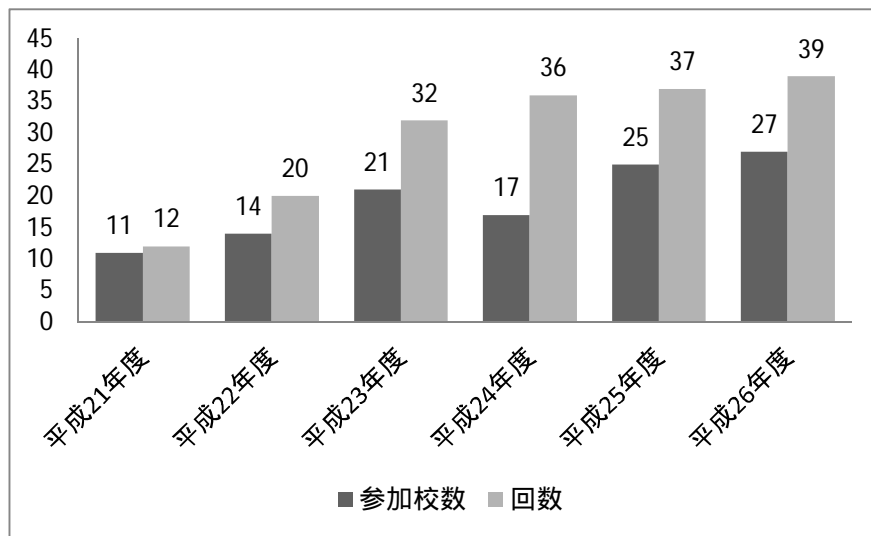
昨年度 計13回 参加者延44名

出張プログラム 担当者が学校へ赴き美術館や展覧会に関連した授業のお手伝いをした

コース名	日程	内容	学校名	生徒数	教員
出張 プログラム	5月28日(水) 10:40~12:15	美術館と松林展の紹介後グループごと大きな画用紙に墨で木を描いた	練馬区立大泉第三小学校・6年生	105	1
	7月25日(金)	美術館とジョー展の紹介後、つけペンで自分の手を描いた	入間市中央公民館	10	1
	9月11日(木) 13:10~14:45	美術館と水墨画の紹介後、室町から現代までの画を選び各自画用紙に模写した	練馬区立大泉第六小学校・6年生	86	3
	1月7日(水) 14:00~15:30	美術館と俵有作展の紹介後、水墨画を様々な道具で模写した	練馬区立富士見台地区区民館	20	1

2月19日(木) 10:30～11:25	アートカード を使って当館所 蔵作品の鑑賞 を行った	練馬区立大泉第六小学校・4年1組	36	1
2月19日(木) 11:30～12:15		練馬区立大泉第六小学校・4年2組	37	1
2月27日(金) 13:30～15:10	総合学習の時 間に美術館の 仕事について 話をした	練馬区立大泉第六小学校・6年生	86	3
			380	11
			計7回 延391名	

昨年度 計3回 参加者延354名



スクールプログラム 計27校39回 参加児童・生徒・学生 延981名
昨年度 計25校37回 参加児童・生徒・学生 延1,177名

）ティーチャーズデイ

当館及び当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設けた。

各日ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とした。

展覧会名	日程	参加人数
松林桂月展	4月15日(火) 15:30～	20
コレクション展	6月18日(火) 15:30～	12
あしたのジョー、の時代展	7月29日(火) 15:30～	12
見つめて！シェイクスピア展	9月30日(火) 15:30～	6
俵有作展	12月9日(火) 15:30～	8
		58

計5回 延58名
昨年度 計4回 参加者延52名

）スクールミュージアム

美術館の所蔵作品を学校の授業に役立ててもらうため、紙製の図版カード(トランプ大)、マグネットシート(A4版/A3版)、専用パネルの貸し出しを行った。

これらのツールは、平成18年文化庁芸術拠点形成事業助成を受け、当館の所蔵作品から104点を選出し、作成したものの。

本年度の貸し出し なし

）その他

学外活動受け入れ 都立大泉桜高校美術部部員 延25名(引率延4名)

日時	参加プログラム名	活動内容	人数	引率
8月3日(日)	10:00～18:00	つけペンで描く自画像	7名	1名
8月9日(土)	13:00～18:00	レコードジャケットをデザインし	6名	1名
8月16日(土)	13:00～18:00	ジーンズをリメイクしよう	6名	1名
8月22日(金)	10:00～18:00	美術館をつかまえる!?	6名	1名

その他

）団体鑑賞（一般）

一般団体から展覧会解説の要望があった場合、申込用紙に記入頂いたうえで、各担当学芸員が担当し実施した。

展覧会	在館予定	担当	団体名	代表者氏名	参加者
松林桂月展	7月21日(月) 10:15～11:50	加藤	アートテラーとに～一行	大山敦士	10
シェイクスピア展	10月15日(火) 10:30～11:30	小野	練馬シニアネットワーク 睦会	会長 渋井良郎	20
	10月22日(火) 14:00～16:00	小野	練馬区立富士見台地区区民館	館長 橋口明人	16
	11月20日(木) 10:30～11:30	小野	練馬シニアネットワーク ひとみ会	会長 伊地知哲男	15
俵有作展	1月15日(水) 10:40～11:00	加藤	NHK文化センター柏教室	支店長 久保安夫	10
		加藤	2013会	長島敬一	5
	1月15日(水) 14:00～15:00	加藤	練馬区立富士見台地区区民館	館長 橋口明人	29
	1月30日(金)	加藤	アートテラーとに～一行	大山敦士	16
					121

計8回 延121名

昨年度 計2回 参加者延53名

教育普及事業全参加者 計3,435名

前年度参加者 計5,032名

平成26年度 博物館実習実績

実習実施期間 平成26年9月20日(木)～9月26日(日) <6日間>

9月22日(月)を除く

No	大学名	学部等	人数
1	東京女子大学	現代教養学部 人文学科史学専攻	1名
2	立教大学	観光学部 観光学科	1名
3	女子美術大学	芸術学部 美術学科芸術表象専攻	1名
4	東北芸術工科大学	芸術学部 美術史・文化財保存修復学科	1名
5	武蔵野美術大学	造形研究科修士課程美術専攻 日本画コース	1名
6	国立音楽大学	音楽学部 演奏学科弦管打楽器専修	1名
7	清泉女子大学	文学部 文化史学科	1名
8	明星大学	造形芸術学部造形芸術学科	1名
9	学習院大学	文学部 哲学科	1名
合		計	9名

(昨年度 12名)

平成26年度 美術館サポーター(ボランティア)活動実績

「美術館サポーター」は、平成17年8月からスタートしたボランティア活動(1年更新)で、美術館事業の一部(チラシ発送作業・新聞資料作成・イベントの手伝い等)を担ってもらっているボランティア活動である。

平成26年7月に第9期が終了し、8月から第10期が始動し、計45人が活動している。平成26年3月からコレクション展で展示解説を再開した。

サポーター活動の実績

平成27年3月26日現在

展覧会等	活動内容	活動日数	延べ人数
松林桂月展	会場整理等イベント補助	3日	11名
コレクション展	チラシ等発送準備	1日	9名
N+N展	チラシ等発送準備	1日	14名
あしたのジョー、の時代展	会場整理等イベント補助	2日	8名
シェイクスピア展	会場整理等イベント補助	2日	8名
区民美術展	会場整理等イベント補助	4日	44名
美術講座受付等補助		3日	9名
ギャラリートーク		5日	17名
練馬区ゆかりの作家調べ		10日	118名
サポーター通信「階(きざはし)」編集		10日	70名
新聞切り抜き資料作成		48日	453名
資料室整理作業		5日	63名
館長を囲む会		1日	15名
新年度意見交換会		1日	35名
合 計		96日	874名

(昨年度 131日 延930名)

(3) 美術作品の収集事業

平成26年度 美術作品の収蔵状況

(平成27年3月26日現在)

年度	日本画		洋画		版画		工芸		書		彫刻・立体		その他		計		合計
	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	
59	6		9	1			1	2							16	3	19
60	1	1	5	1		1				1					6	4	10
61		7	14	221	14	28								317	28	573	601
62	3	1	32	16	9	1							1	1	45	19	64
63	2	1	15	1	12										29	2	31
1	2		5	48											7	48	55
2	4	1	19	29	4	1									27	31	58
3	2	1	14	13											16	14	30
4	2	1	12	10	18	9									32	20	52
5	2		1	2											3	2	5
6	1	1	15	7		1					1				17	9	26
7	2	4	4	3		1						1			6	9	15
8	1	2	2	9	5	1									8	12	20
9			12	2	1	46									13	48	61
10	3	4	12	21											15	25	40
11		4	12	5		134									12	143	155
12		8		11											0	19	19
13				13											0	13	13
14		29		13											0	42	42
15		1	6	8	12	77									18	86	104
16		65		6											0	71	71
17		6		20											0	26	26
18		30		121		97								8	0	256	256
19		17		40				5				7		7	0	76	76
20		8		31		21									0	60	60
21		8		44		98						13			0	163	163
22		11		168		9								3		191	191
23		8		13								1		123		145	145
24		32		10		33										75	75
25															0	0	0
26		13	1	422		215						22		2084	1	2756	2757
合計	31	264	190	1309	75	773	1	7	0	1	1	44	1	2543	299	4941	5240

平成27年3月26日現在
寄託作品 1462 点

購入・寄贈・寄託計6702点

平成26年度 収蔵品貸出一覧

神奈川県立近代美術館 葉山ほか計15施設の展覧会に、計72作品の貸し出しを行った。

(主な貸出先)

- ・野見山暁治の「落日」ほか計6点を神奈川県立近代美術館 葉山、富山県立近代美術館、世田谷美術館に
- ・中村宏の「似而非機械」ほか計9点を浜松市美術館に
- ・古沢岩美の「三原山噴火」を兵庫県立美術館に
- ・小川千鶴の「田園風景」を福島県立美術館、泉屋博古館、京都府京都文化博物館に
- ・鶴岡政男「物乞う人(辻楽師)」を熊本県立美術館に
- ・池田龍雄「空中楼閣」ほか計2点を武蔵野市立吉祥寺美術館に
- ・木村荘八「静物」を横須賀美術館に
- ・鍋木清方「道成寺」ほか計3点を千葉市美術館に
- ・小林猶治郎「素描写生行脚」を旺玄会展に
- ・木島始「翼ももたずどうして飛べよう」ほか計2点を石神井公園ふるさと文化館分室に
- ・大坂弘道「神代杉黄楊木飾箱」ほか計45点を倉吉博物館

平成26年度美術館収蔵品データベースに対する反響

当美術館では、区のホームページ上に展覧会情報等を掲載している。

また、収蔵美術品をデジタルデータ化し、パソコン端末での管理をはじめ広く学校教育、生涯学習等の現場で利用していただく目的で、平成16年度末(平成17年3月)に整備した。

なお、平成24年度の9月より美術館収蔵品データベースを新システムに変更し、利用者がネットワークを通じて練馬区立美術館の収蔵品を検索ができるようにした。

以下は、平成26年度のWebサーバへのアクセス件数(2月末現在)

	美術館トップページ	データベース
4月	15,581件 —	875件
5月	10,690件 3位	1,110件
6月	9,845件 —	810件
7月	17,372件 3位	563件
8月	15,060件 —	638件
9月	15,764件 2位	746件
10月	12,212件 2位	641件
11月	11,534件 2位	672件
12月	7,776件 —	537件
1月	11,043件 2位	849件
2月	9,353件 2位	782件
3月	件 —	件
合計	136,230件	8,223件
平均	12,385件/月	748件/月
(平成25年度)	128,455件	10,460件)

(4) 施設利用状況

平成26年度 施設利用状況

展示室

区 分	展覧会回数	利用日数(日)	観覧者数(人)	利用可能日数(日)	利用率(%)
一般展示室	39	206	24,217	234	88.0
企画展示室	3	18	2,197	26	69.2
合計	42	224	26,414	260	86.2
(昨年 49 276 30,367 307 89.9)					

創作室

利用団体	利用件数(件)	月平均件数(件)	利用人数(人)	利用可能件数(件)	利用率(%)
19	299	27	4,650	414	72.2
(昨年 376 31 5,518 457 82.3)					

施設申込状況

区 分		年度総件数	月平均件数	倍 率
一般展示室	申込	88	9.8	最高 4.67倍
	当選	32	3.6	平均 2.72倍
企画展示室	申込	4	-	12月の一部貸出 抽選は平成26年6月に行った。 倍率 1.33倍
	当選	3	-	

展示室の抽選は利用日の6ヶ月前

(5) 平成 26 年度ぐるっとパスの利用状況

「ぐるっとパス」とは、都内の美術館・博物館などの入場券または割引券を 1 冊に綴ったチケットブックのことで、今年度は 78 の施設が対象施設として参加した。価格は 1 冊 2,000 円（使用開始日から 2 か月有効）で、各施設や旅行代理店などで販売を行うほか、コンビニエンスストア等でも引換券を販売している。当館でも、観覧者と収入の増を見込んで平成 23 年度から対象施設として参加している。平成 25 年度には 22 万余円の収益を得た。今年度も同様に収益を見込んでいる。

「ぐるっとパス」事務局（東京都歴史文化財団内）では、新聞・雑誌等に広告を掲載するとともに、インターネットなどを活用し、宣伝普及に努めている。今年度は、スマートフォン専用サイトや公式ブログが開設された。

昨年 4 月の消費税改定に伴い、販売価格の見直しも検討されたが、値上げによる売上の減少が懸念されるなどの理由により、平成 27 年度末まではこれまでどおりの金額で販売を継続することが決定している。

平成 26 年度の

当館のパス売上数 139 冊（25 年度 120 冊）

パスを利用して当館に入場した人の数 1,789 人

（25 年度 1,973 人）